

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	デイサービスほっと(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和8年1月20日		令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年1月30日		令和8年2月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数で活動を実施し、きめ細かい支援の中で丁寧な療育を提供しています	お子さんの発達や特性、その日の利用人数、活動内容に合わせて、環境を変化させて、お子さんがより分かりやすく、集中しやすい環境作りを意識しています その日の保護者の様子に変化があった場合はすぐに対応できるようにスタッフで声を掛け合っています	活動内容の反省点や、利用親子の様子を活動後にスタッフでじっくり話し合い、共通理解を高め、利用者が安心できる雰囲気作りをしています
2	お子さんの特性や、成長に合った楽しめる活動をしています	やらされる活動ではなく、やりたくなる活動を考えます。 「楽しく遊んでいたら、いつの間にか成長していた」と親子で思えるよう、人形を使って見本を見せて、目でみてわかって取り組めるようにしています	過去の遊びを参考にしつつも、現在通っていただいているお子さんの様子を都度アセスメントして、遊びをアップデートするための反省会、検討会をしています
3	利用のお子さんだけでなく家族ぐるみの療育を提供し、療育中だけでなく家庭に繁栄できる療育をしています	療育を受けるお子さんだけでなく、日と一緒に過ごすご家族の方への支援を心掛けています。 困った事や、悩んでいる事をすぐに相談しやすい環境や時間を設けて、お家でもできる事を提案させていただいています。	個別でお子さんの今の様子や今の育児の悩み、今後の育児について懇談する機会をさらに増やしていきたいです 話しやすいように、ゆったりとした環境を整えていきます

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	少人数利用の施設であるため、玄関やトイレなど手狭に感じる場所があります	靴や衣服の着脱も療育の一つとして考えていたのですが、降所時間、散歩の時間、排泄時間が一緒になった時の場面をしっかりと想定できていませんでした	物理的に着脱コーナーの場所を広げたり、待ち人への対応として、手遊びをしたり、遊んで待てるように活動の順番を工夫するなどしていきます
2	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会	気兼ねなく地域の保育園に出向ける方とそうでない方がいる中でどうグループ全体を支援しながら地域のこどもたちと交流や活動をしていくかを検討します	ご家庭からの交流は難しいかもしれないのでどういった機会が接点をつくっていけるのかまず検討しながらすすめていきたいです
3			